庄野まちづくりだより

今回は裏面に「しょうのホタルの会」の紹介を載せました。是非ご覧ください！

第108号
令和７年　5月20日
発行　庄野地区まちづくり協議会事務局
ＴＥＬ:059-324-0955
FAX:059-378-4902

先日**「庄野地区防災計画」**を配布させていただきました。家族全員で読んでいただき、いつでも見られるように大切に保管してください。安否確認カード（左写真）も一度ご自宅の玄関ドアに上手く掛けれるかどうか試していただけると幸いです。

しょうのホタルの会から

代表　加藤孝夫

こんにちは。こんばんは。

「しょうのホタルの会」が発足して早や２３年になります。庄野町のホタルご存知ですか？ホタルの中では世界で一番大きくて日本だけに棲んでいるゲンジボタルの保護・育成活動している団体です。ホタルにとって良いことか悪いことか判りませんが、２３年続けています。

ゲンジボタルの幼虫・蛹　全般に、日なたを好むので繁殖地周辺の草刈りを実施しています。これによって鑑賞地の草の中にマムシが隠れる場所を無くすという安全対策にもなっています。又、ゲンジボタルの幼虫は餌として、カワニナ（巻き貝）しか食べないのでカワニナを増やす活動もしています。庄野小学校４年生対象に、１２年前からホタル学習のお手伝いをさせて頂いております。学習の説明　児童達は先生やインターネットで色々と良く勉強し調べています。負けそう(;∀;)

それと現地視察（繁殖地・ホタル祭り等の夜の道案内・説明等）とホタルの幼虫の餌（カワニナ）を「しょうの菖蒲園」前の水路で見て・手に取って説明しています。

現在若い人が興味を持って頂き、数名入会して頂きました。活動時は、十数名での活動で 年寄り（８０歳前後）も 増え苦しい活動を続けています。年数回 ホタル小屋（庄野町西墓地付近）で懇親会（昼食事会・バーベキュー・カラオケ等）をして親睦を深め、楽しく和気あいあいの時間を楽しんでいます。庄野町のまちおこし・仲間作りの一環で お手伝いをして頂ける方を募集しています。是非お手伝いをお願いしたいので、一報お待ちしております。

連絡先　しょうのホタルの会 代表　加藤孝夫　０９０－８８６１－７３２８

ホタル祭り　５月２４日　昼の部　ホタル小屋広場１４時～１６時

夜の部　日没～２１時　ピーク時２０時過ぎ～３０分　　雨天　５月２５日

郷土史研究会　講演会に参加して

郷土史研究会　会長　福嶋誠

荒神山の喧嘩は１８６７年の４月８日に起こりました。神戸の長吉と桑名の穴太徳の縄張り争い（寺銭は約千両あったと伝わる）が原因でした。水谷講師の話は庄野町７番町の“うどん屋”（竹中氏宅）にて談合が行われた。穴太徳に加勢した黒駒勝蔵（山梨県黒駒郡出身の侠客）は庄野の旅籠坂本屋にて坂本龍馬と密談をした気配があるとのこと。勝蔵は尊王攘夷派の志士として活躍した。戊辰戦争にて赤報隊の隊長を務めていた等々。幕末の庄野宿の様子を思い起こさせてもらいました。広小路通りに庄野宿の賭場があり、出入りの者達は倒幕方の赤報隊の将兵として募集されていた話等。又、荒神山前住職の話は春日局に始まり、春日局に終わった様なストーリーでした。釣鐘が文化財として認められていないとのことで残念がられてました。（理由は、鐘に刻印が有るにも係わらず証拠の文書が無い為）

大変貴重な話を承り、ありがとうございました。